



あおぞら通信

2017年
新春号

感冒性胃腸炎(またはロタウイルス性・ノロウイルス性胃腸炎など)
にご注意ください!!

寒い季節・年末年始…何かと忙しい中、子どもたちの体力も低下してくると風邪をひきやすくなります。今回は11月頃から流行している感冒性胃腸炎にかかった時の対処の仕方についてお話いたします。

感冒性胃腸炎とは



症状

腹痛・下痢・吐き気・おう吐・発熱
突然の嘔吐で始まり発熱や下痢を伴うことがあります。

特徴

発熱やおう吐は1～2日で治まり、下痢が治まるまでに1週間～10日間程度かかることもあります。

症状が治まっても感染後、通常1週間、長い時は1か月間、ウイルスが便の中に排泄され続けます。

そのため、本人の症状が治まっても周りの人が感染する可能性があります。

診察時にドクターに伝えること

- ・症状はいつからでているか
- ・嘔吐、排便の回数
どんな便がでているか・色・形状
- ・お熱の有無
- ・腹痛の有無
- ・おしっこの回数、色や量



症状が出てから他の病院や救急病院を受診してお薬を内服している場合はその時に処方されたお薬がわかるようにお薬手帳をお持ちください。

お子さまの薬の効果や経過の判断・今後の治療の参考になります。

感染を防ぐには

・手洗い・うがい・

手はせっけんを使って丁寧にきれいなタオルかペーパータオルでふき取りましょう。調理や食事の前・トイレの後には必ず行いましょう。



アルコール消毒薬が効きにくいです!

☆おう吐物・便の処理時おたすけグッズ☆



手袋



マスク



新聞紙



ビニール袋

・便やおう吐物の処理方法・

- ①便やおう吐物の処理をするときはできるだけ使い捨ての手袋とマスク、エプロンを着用しましょう。
- ②便やおう吐物に対して新聞紙やペーパータオルをかぶせその上に塩素系漂白剤の薄め液をしみこませて、外側から内側に向けてふき取ります。
- ③ふき取った新聞紙やペーパータオルはビニール袋に入れて処理します。
- ④拭き残しをしっかりとうすめ液で拭き取り、手袋は付着した便やおう吐物が飛び散らないように裏返して処分します。その後手を念入りに洗いましょう。

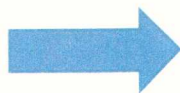
マスク → 使用後は全て廃棄・消毒
手袋
エプロン



塩素系漂白剤の薄め液

市販のハイターやブリーチなどの漂白剤の表示を参考にして作って使用してください

処理後は



必ず手洗い



おう吐物が服などに付着した場合は85℃以上の熱湯に2分以上浸してからいつも通り洗濯してください。他の洗濯物とは別に洗ってください。

ご家族でウイルスから身を守りましょう。